東京モノレール車両に亀裂 ラッシュ時間、当面減便

2022/6/1 14:30

東京モノレールの車両の部品で見つかった亀裂（丸で囲った部分）=同社提供・共同

羽田空港と東京都心を結ぶ東京モノレールが運行する複数の車両で、車体と台車を連結する部品に亀裂が見つかり、同社は1日から当面、平日午前7～9時のラッシュ時間帯で本数を減らして運行すると明らかにした。

同社によると、亀裂が見つかったのは最新鋭の10000形の車両。5月30日のタイヤ交換後の点検で亀裂が見つかり、全8編成を緊急点検したところ7編成で計24カ所に上った。不具合のあった部品の大きさは縦300センチ、横55センチで、亀裂の長さは最大19センチだった。

同社は当面、問題のなかった10000形1編成と、従来型の車両を含めた計12編成で運行。平日の日中や休日のダイヤに影響はないが、朝のラッシュ時間は通常の4分間隔ではなく、5分間隔で運行する。

車両の台車を巡っては、JR西日本の大阪府と和歌山県を結ぶ特急「くろしお」で長さ約11センチの亀裂が見つかったと、同社が5月31日に発表している。原因は調査中で、ただちに破断につながる状態ではないという。〔共同〕